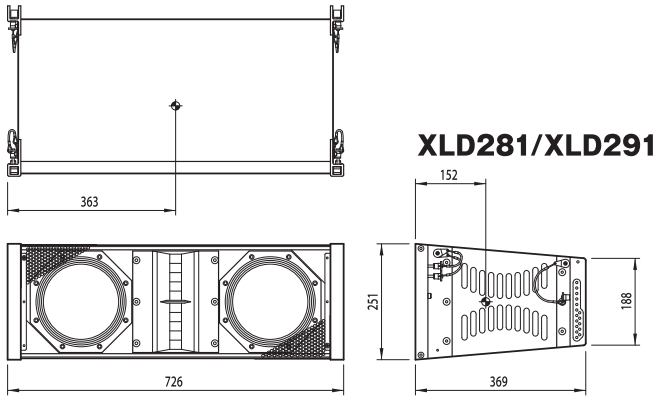
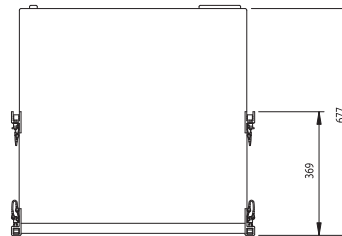
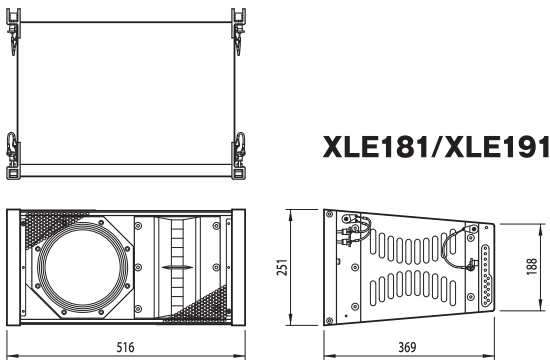


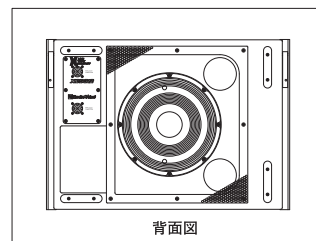
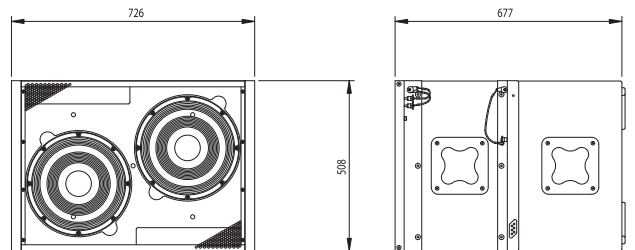
XLVCシリーズ ベリーコンパクト ラインアレイ スピーカシステム



AGCDを使用したコンビネーションスタック
XLD281、XLC215、AGCD、Xbd、Xbdアウトリガーでの組み合わせで、搬入からセッティングまでをスムーズに行えます。



XCS312



背面図

型番	XCS312
形式	単一指向性サブウーファー
バッシブネットワーク	—
周波数特性(-3dBダウンポイント)	45Hz~400Hz
出力音圧レベル SPL 1W/1m	100dB
最大音圧レベル SPL ピーク/1m 算出値	136dB
長時間連続許容入力	フロント 1,000W/リア 500W
ピーク許容入力	フロント 4,000W/リア 1,000W
公称指向角度	160°
使用コンポーネント	12インチ(30cm)ウーファー DVX3120 フロント × 2、リア × 1
推奨クロスオーバー周波数	100Hz以下
公称インピーダンス	フロント 4Ω/リア 8Ω
入力コネクター	Neutrik® NL8 × 2(パラレル)
入力コネクターピン番号	1± フロント / 2± リア / 3± 未使用 / 4± 未使用
寸法 (高さ×幅×奥行)	508 × 726 × 677mm
仕上げ	EV Coat™ 黒・白塗装モデル有
グリル	ポリエステルパウダーコート スチール製、クロス内張り
対環境仕様 雨、水飛沫、埃	IEC529保護等級IP24
対環境仕様 湿度、塩水飛沫、紫外線など	MIL810仕様に適合
本体標準付属金具	オリジナル Quik-Rig™
本体重量	60.0Kg

XLVCシステムを幅広くご使用いただくために、様々な専用アクセサリを、ご用意させていただいております。

XLD Grid	XLD281及びXS212専用フラインググリッド
XLE Grid	XLE専用フラインググリッド
CBEAM	カプラービーム
AGCD	XLC / XLDアタッチメントグリッド
XLVC BGK	XLD、XLE 底面グリッド取り付けキット
XGS-4	XLD、XLE、XS、グラウンドスタックベース
XLD/XS Dolly	XLD281及びXS212専用台車
SP8.4	XLD/XS Dollyサイドパネル 8×XLDもしくは4×XS
SP12.6	XLD/XS Dollyサイドパネル 12×XLDもしくは6×XS

Minimum Cabinet Line Array

Vertical Beam Shaping(VBS)テクノロジー

複数のキャビネットもしくは、トランスデューサを線状に組み合わせることで構築されるスピーカシステムが、ラインアレイと呼ばれています。

その能力は素晴らしく、固定設備、移動型を問わず、現在のSRシーンにおいて、幅広く使用されています。

しかしながら時に、特に固定設備の分野において、開口寸法の問題などから、設置条件にそぐわない場合が発生します。

そのような場合に、エレクトロボイス®のVBSテクノロジーは、絶大な効果を発揮します。

VBSテクノロジーを採用したXiAシリーズ™の、デュアル・ウーファー・スリーウェイ・システムは、従来の1ボックス型システムでは、成しえなかった、垂直方向における低域までの、指向性コントロールを可能にしました。

VBSテクノロジー

縦方向に配列された、低域用トランスデューサと、中域用トランスデューサの、再生帯域をオーバーラップさせることで、それを実現しています。

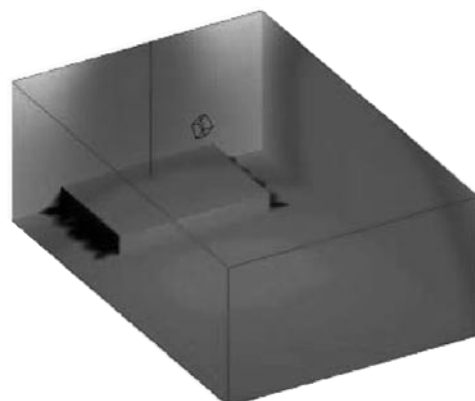
通常、再生帯域をオーバーラップさせることで、位相干渉が起きてしまい、キャンセレーションが発生してしまいます。

エレクトロボイス®の、VBSテクノロジーでは、専用デジタルシグナルプロセッサ※内部で、細かな調整を行うことにより、それを回避しています。

Xi-2153A/64Fシステムでは、125Hz～540Hzまでをオーバーラップさせることで、125Hzまでの垂直指向性を制御、ラインアレイシステムと同様に、反射音を抑え、明瞭度を確保しながら、スピーカ直下でのハウリングマージンを、大幅に改善しています。

シングルウーファータイプのXi-1153/64Fシステムでも、同様にオーバーラップさせることで、350Hzまでの指向性を制御しています。

VBSテクノロジーの効果を表す音圧分布



250Hz(通常3ウェイ方式)



250Hz(トライポール方式)
指向性が強くなり、ステージへの回り込みが改善される。

※1
VBSテクノロジーで中低域指向性をコントロールするには、エレクトロボイス®DX38デジタルシグナルプロセッサ、RCM26もしくはクラークテクニクDN9848Eデジタルシグナルプロセッサでの的確なオペレーションが必要になります。